

## <箕面市立 多世代交流センター>

### 1. 目的・役割

地域活動の拠点として高齢者の健康づくりや生きがいづくり、子育て中の親子のサポート、地域住民の活動支援など高齢者から子どもまで「世代を超えたふれあいの場」を創出します。

またおひさまルームひじりでは、子育て中の親子が気軽に集い、楽しく自由に過ごせる出会い・交流・学びの場を提供するとともに、子育てが孤立しないよう寄り添います。

### 2. 重点項目

#### ◆目標利用者数

令和8年度目標	令和7年度実績	令和6年度実績	令和5年度実績
55,000名	43,757名	46,193名	46,320名

#### ◆サービスの充実と質の向上

- ・入館時のカードリーダーシステムを一新し、利用者がより一層スムーズに入館できるように改善します。
- ・今後とも日祝以外の喫茶メロディーの営業を維持し、利用者がいつでも飲食できる環境を提供していきます。また週2回(水と金)のパン販売も続けていけるように努めます。

#### ◆地域社会に対する取り組み

- ・地元自治会をはじめ地域への周知活動にも力を入れ、開かれた魅力のある取り組みを発展させていきます。
- ・今年度もセンターまつり、ふれあいハーモニーコンサートやライブ演奏会の開催、盆踊り大会、作品展、フリマなどの地域に開かれたイベントを創意工夫して開催し、ご利用者の期待に応えていけるように努めます。
- ・募金支援を視野に入れて「ふれあいフリーマーケット」をよりスケールアップさせて実施していきます。

#### ◆おひさまルームの充実

- ・おひさまルームのスタッフが外部研修を受講したり、市内のおひさまルームと交流することによりスキルアップを図り、子育て支援の充実を目指します。また利用しやすい環境の設定も計画します。

#### ◆財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・2013年の竣工以来13年が経過し、施設修繕の必要箇所も目立ってきており、メンテナンス費用の増加が懸念される所です。稲ふれあいセンター建物の躯体の修繕や緊急性のある修繕への対応などに備え、箕面市との情報共有・連携を密にとりつつ、予期せぬ災害や支出などに備えていきます。
- ・無駄な光熱水費の出費がないかなど、ご利用者の協力も得ながら日常的に注意を払い、可能な限りの節約に努めるとともに、貸館事業や駐車場事業での収入増を図ります。

#### ◆その他

- ・2024年3月23日の北大阪急行延伸により、オレンジゆずるバスの路線等にも変更があり、船場地区の開発がすすみ環境は大きく変化しています。近接に位置しているセンターとしては、環境変化の影響を受けつつも地域に一層開かれた拠点施設としての役割を果たしていきます。
- ・駐車場の精算システムを改善し、現金以外の支払いも可能にしてご利用者の利便性を図ります。